

JR 鶴見駅周辺歩行者空間整備にかかるプロポにて特定（2001 年）、全体構想策定後の翌 2002 年に同駅隣接の東西自由通路への EV 設置に連動し、橋本体の鋼トラス構造補強と改修設計を担当した。内装イメージの一新を図るため、天井部と側面から自然光を取り込むべく、トップライト（新設）と外装をアルミハニカム組込みペアガラスとしている。両端橋台部の壁・天井面の一新と合わせ、一部にギャラリースペース、休憩コーナーの設置、サイン等のデザイン全般を担当した（2008 年竣工）。



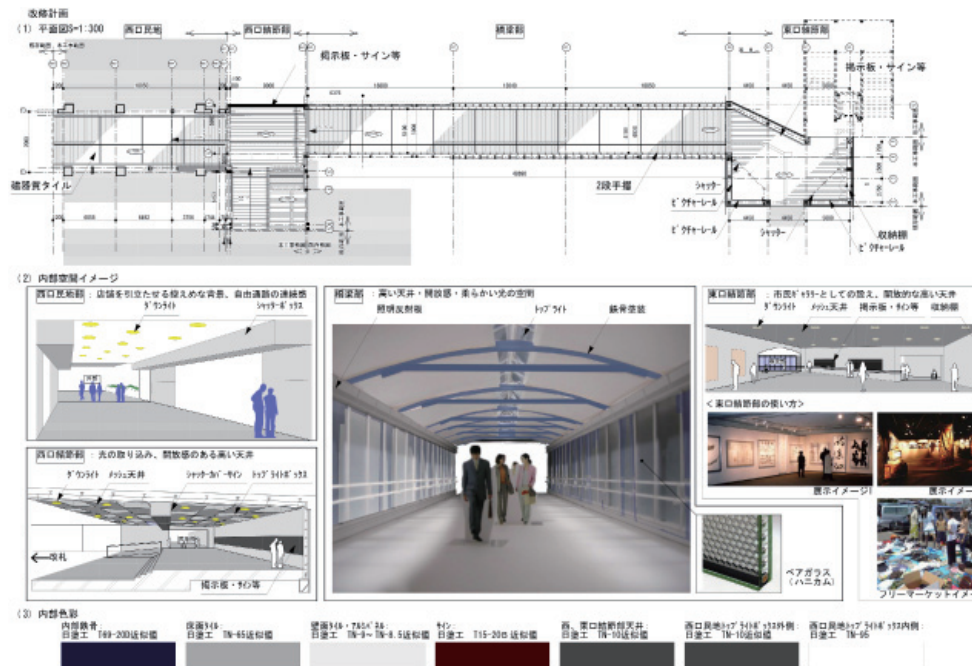
天井にトップライトを設けることで明るくなった通路、側面は全面アルミハニカム組込みペアガラス



改修後の鶴見駅人道橋の外観



橋台部の展示ギャラリー



経緯 鶴見駅周辺歩行者空間整備等構想調査'01.2～'01.3 横浜市鶴見区／鶴見副都心地区（鶴見駅人道橋）改修基本設計'02.12～'03.3 横浜市
 諸元 所在地：神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央 担当：中野、岩村、田邊、池田、協力：パンフィックコンサルタンツ（橋梁構造設計）